

■同時発表先：島根県政記者会  
出雲市政記者クラブ

～「さくらおろちを活性化する会」でとりまとめた水源地域ビジョンの  
取組みや実施時期を審議する～  
**「第2回 尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を  
開催します**

尾原ダムの水源地域が有する様々な資源と尾原ダムの積極的な活用等によって水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための行動計画（「水源地域ビジョン」）を策定するため、平成24年9月20日に、自治体、地域の方々、学識者、島根県、国土交通省で構成する「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を設立しました。その後、具体的な検討を行う「さくらおろちを活性化する会」を平成24年10月23日に設立し、これまでに3回（10月、11月、12月）開催し、取組内容の提案や意見交換などを行ってきました。

今回、「具体的な取組み内容及び実施時期」の案について審議いただく「第2回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を開催します。

記

**日時：平成25年1月17日（木） 10：00～12：00**

**場所：尾原ダム管理支所（島根県雲南市木次町平田211-5）※別紙参照**

※傍聴・取材について：本委員会については一般の方の傍聴及び報道関係者の取材は可能です。

※「さくらおろちを活性化する会」とは、委員会規約第3条6項「委員会が必要に応じて検討会や懇談会等を設け、意見・提案を受けられることができる」を受け設置された会です。

※第1回委員会資料など尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は、<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/> でご覧になれます。これまでの検討状況をまとめた「尾原ダム水源地域ビジョンニュース」（第1号～第4号）を参考に添付します。

※水源地域ビジョンとは：ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のために、水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で策定する水源地域活性化のための行動計画です。

## <問い合わせ先>



尾原ダムキャラクター「すさのおくん」

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長(技)

【担当】管理第二課長

0853-20-1754（直通）

たまだかずお  
玉田 一雄  
こうのひろあき  
河野 弘明

# 尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会

## 第2回委員会

日時：平成25年1月17日（木）10:00～12:00

場所：尾原ダム管理支所 会議室

### 議事次第

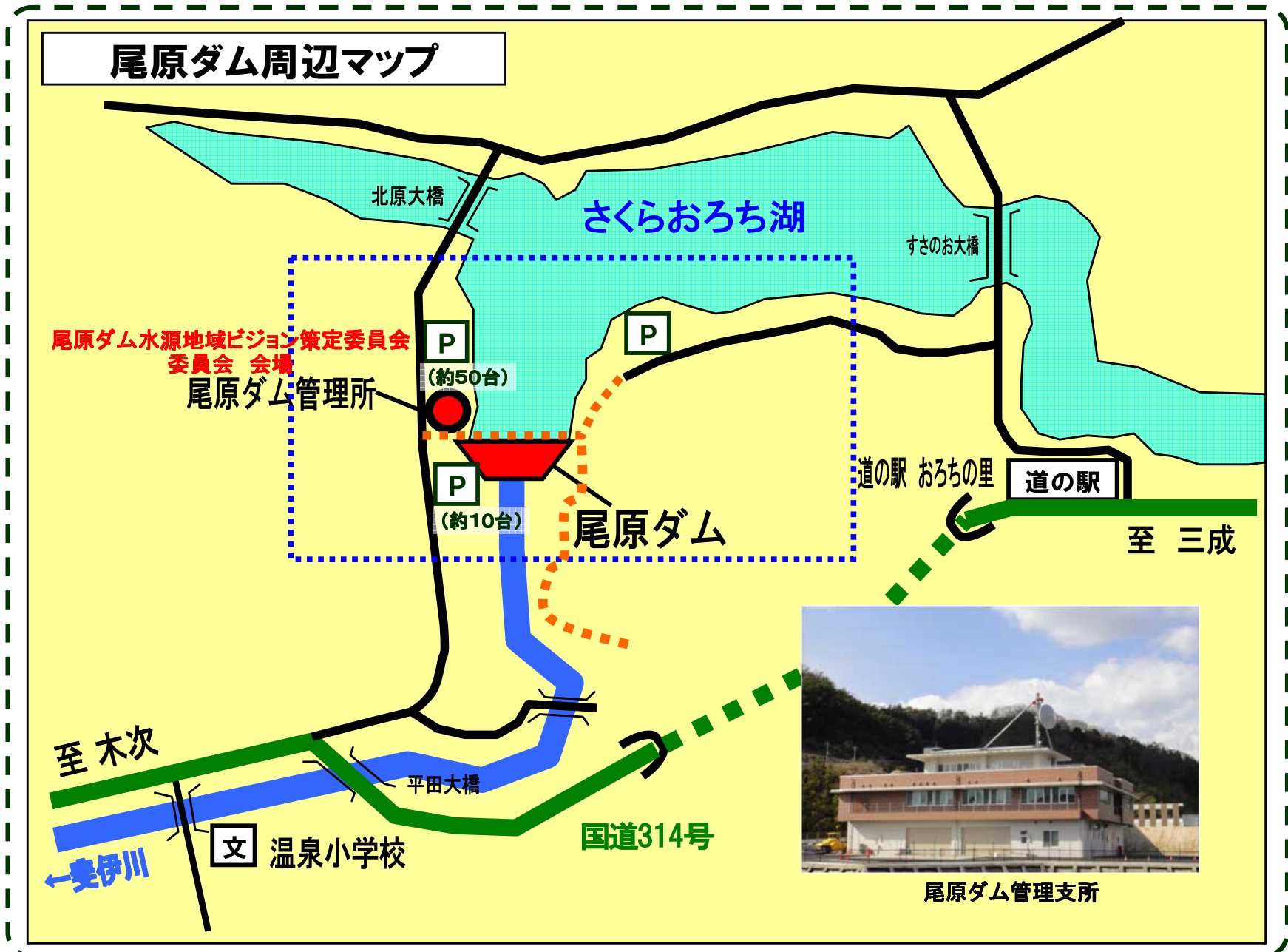
1. 開会
2. 挨拶
3. 出席者紹介
4. 議 事
  - (1) 第1回委員会委員意見への対応状況
  - (2) 尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念・地域の目標像・基本方針の報告
  - (3) 「第1回委員会」以降の取組経過
    - 1) 「尾原ダム水源地域ビジョン」策定状況の報告
    - 2) 尾原ダム水源地域ビジョンにおけるプロジェクト（案）
    - 3) 尾原ダム水源地域ビジョンのプロジェクトの取組時期（案）
    - 4) 先行プロジェクトのとりまとめフォーマット（案）
  - (4) 広報の取組状況の報告
  - (5) 今後の予定
5. 閉会

## 尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会委員

(敬称略)

所 属 等	氏 名	備 考
島根大学 教育学部 准教授	さく の ひろ かず 作 野 広 和	
温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」 会長	かつ べ ひろし 勝 部 博	
NPO法人奥出雲布勢の郷 会長	なか ばやし ひで きよ 中 林 英 清	
雲南市 市長	はや み ゆう いち 速 水 雄 一	
奥出雲町 町長	いの うえ かつ ひろ 井 上 勝 博	
島根県 土木部 斐伊川神戸川対策課長	あま つ よし ろう 天 津 芳 郎	
島根県 雲南県土整備事務所長	うえ だ みつ ひろ 植 田 充 弘	
国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所長	たち けん いち ろう 館 健 一 郎	

# 【委員会会場案内図】







# 尾原ダム水源地域ビジョンニュース

創刊号 (H24.9.24発行)

「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定がはじまりました。  
このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取り組む「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしていきます。地域の更なる活性化の主役は地域の皆さんです。一緒に取り組んでいきましょう。

尾原ダムは、平成24年3月鳥根県雲南市木次町に完成し、地域の安全・安心の確保、河川環境の保全、水道用水の供給を目的として本格的に運用を開始しています。

## ■「尾原ダム水源地域ビジョン※」をつくりまします。

平成17年5月に「ダム湖と周辺地域が一体となった交流圏の形成」を基本理念とした『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』が策定され、ボート競技施設や自転車競技施設、道の駅、温泉施設などの周辺施設がほぼ完成し、積極的に活用されています。

今後は、これらの周辺施設を活かしながら、日常的な交流・連携を推進し、水源地域の更なる活性化を図っていく必要があります。

そこで、尾原ダム水源地域にある様々な資源と尾原ダムの積極的な活用等によって水源地域の自立的・持続的な活性化を図るための行動計画(尾原ダム水源地域ビジョン)を平成25年夏頃を目処に策定していきます。

※水源地域ビジョンとは：国土交通省と水資源機構のダムにおいて、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化のために、水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と協働で策定する水源地域活性化のための行動計画です。中国地方では、志津見ダム(鳥根県飯南町)、殿ダム(鳥取県鳥取市)、苫田ダム(岡山県鏡野町)をはじめ、10箇所のダムですでに策定されています。



▲尾原ダムとさくらおろち湖

## ◆水源地域ビジョンの特徴は？

- ・地域を活かした計画です！ 水源地域の良いところを活かした様々な活性化の取組が計画されます。
- ・地域のみんが主役です！ 水源地域の活性化に向けた取組の主役は皆さんです。地域の皆さんが中心となる取組について話し合いながら、計画に盛り込んでいきます。
- ・みんなで作ります！ 地域の皆さんと、水源地域の自治体、ダム管理者が共同して検討を進め、計画をつくっていきます。

## ■「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を設立しました！

平成24年9月20日(木)に「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を設立しました。委員長には、速水雄一雲南市長が選出されました。

委員会では、設立趣意、規約、策定手法、広報計画が承認され、続いて水源地域ビジョンの策定へ向けた意見交換が行われました。各委員から以下のような意見が出されました。

尾原ダム水源地域ビジョン策定



▲速水委員長のあいさつ



▲策定委員会の様子

### 【各委員の主な発言】

- ・地域の方々との合意形成を図りながら水源地域ビジョンを策定していく。
- ・上流域の各種団体あるいは住民組織が連携していく必要がある。
- ・地域住民や関連団体が自ら策定したという手作り感が必要である。
- ・下流域への広報も重要であるが、地元にも周知する必要がある。
- ・平成17年に策定された『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』の内容を理解したうえで、検討していく必要がある。
- ・作業部会のメンバーについては、広く意思疎通が図られるようなメンバー選定が必要である。
- ・地域が豊かになるような、あるいは賑やかになるようなアクションプランにして欲しい。
- ・上下流交流に力をいれて欲しい。
- ・「尾原ダムならではのなにが」を明らかにし、水源地域の潜在ポテンシャルを明確にしていることが重要である。

今後は、地域の皆様のご意見・ご提案をいただく作業部会(仮称)を開催しながら、水源地域ビジョンの検討を進めていきます。

次回委員会では、第1回策定委員会と作業部会(仮称)のご意見・ご提案をもとにした基本理念・地域の目標像・基本方針を報告し、具体的なプロジェクトについて意見交換を行う予定です。

### 【尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会委員】

氏名	所属・役職
作野 広和	鳥根大学 教育学部 准教授
勝部 博	温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」会長
中林 英清	NPO法人奥出雲布勢の郷 会長
速水 雄一	雲南市 市長(委員長)
井上 勝博	奥出雲町 町長
天津 芳郎	鳥根県 土木部 斐伊川神戸川対策課長
植田 充弘	鳥根県 雲南県土整備事務所長
舘 健一郎	国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所長

順不同、敬称略

編集  
後記

創刊号、いかがでしたか？ このニュースレターでは、尾原ダム水源地域ビジョンの策定状況を随時お知らせします。一緒に、尾原ダム水源地域の未来を考えましょう。ご協力よろしくお願いいたします。



【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

- ・雲南市 ダム対策課
- ・鳥根県 斐伊川神戸川対策課
- ・奥出雲町 地域振興課
- ・国土交通省 出雲河川事務所管理第二課
- ・鳥根県 雲南県土整備事務所

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。 <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>



# 尾原ダム水源地域ビジョンニュース

第2号 (H24.10.30発行)

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取り組む「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

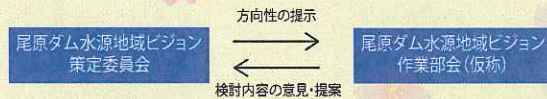
## 第1回「尾原ダム水源地域ビジョン作業部会(仮称)」\*を開催しました!

\*以下、「作業部会(仮称)」という

### ◆「作業部会(仮称)」を設立しました。

平成24年9月20日に設立した「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」へ、水源地域の活性化に向けた具体的な取組(プロジェクト)に関する意見・提案を行う「尾原ダム水源地域ビジョン作業部会(仮称)」が設立されました。

この「作業部会(仮称)」のメンバーは、地域の皆さんや地域活動団体の方などを中心に、商工観光組織の関係者や教育機関の方など幅広いメンバーで構成されています。



【尾原ダム水源地域ビジョン作業部会(仮称)メンバー】

区分	参加団体・組織	
地域住民	平田地区自治会連絡会	
	尾原連合自治会	布勢地区自治会長会
	榎之屋連合自治会	三沢地区自治会長会
	湯村自治会連絡会	
	ダム湖の郷	
地域活動組織	温泉地区活性化対策協議会	とんぼの会
	NPO法人ふる里雲南	NPO法人布勢の郷
	NPO法人さくらおろち	
商工観光組織	雲南市商工会	奥出雲町商工会
	J A雲南	
教育機関	島根大学	
行政機関	雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	

### ◆第1回「作業部会(仮称)」での討議概要

初回である今回の「作業部会(仮称)」では、尾原ダム水源地域ビジョンの策定の背景や目的などを確認しました。その後、3グループに分かれ、尾原ダム水源地域への想い(「守りたい資源」、「活用すべき資源」)や、その想いを踏まえ、今後取り組んでみたいことなど、地域活性化に向けた意見交換を行いました。

意見交換では、水源地域の魅力の発見や再認識がなされ、参加メンバーの水源地域への想いが共有されるとともに、初回にもかかわらず具体的な取組の提案がされるなど、水源地域の活性化に向けた熱心な議論が終了時間まで続きました。

最後に、各グループ毎に意見発表をして頂き、第1回の作業部会を終えました。

#### 【主な意見・提案】

- ・春は青葉、秋は紅葉、きれいな星空、こうした自然環境を守っていききたい。
- ・おいしい水、豊富な山菜や茸、仁多米など豊かな食文化を与えてくれる自然環境を守りたい。
- ・きれいな水を守りたい。そのためには油を出さない取組などを各家庭に広めていきたい。
- ・緑豊かな森を守るためには、自然観察会や学習会などの意識啓発活動を進めることが大切である。
- ・草刈りのボランティア活動など、地域でも自発的に周辺の維持管理を行うことが大切ではないか。
- ・農地の景観保全のために色とりどりの花を植えるといいのではないか。
- ・「さくらおろち湖」の湖面をボート競技だけでなく、シーカヤックなども使って有効活用したい。
- ・ダム本体やダム周辺に整備された様々な施設を活用して、地域外の人を呼び込みたい。
- ・スポーツ施設を活用したダム上下流の交流を進めるためには、利用手続きの簡素化など、柔軟な施設運営が求められる。
- ・子供たちがのびのび遊べる自然環境を大切にしたい。
- ・焼豆腐、米などの地元食材を使った料理を伝えていきたい。
- ・神話の伝承地なので、地元でももっと神話の事を知ることが必要。神話教室などを開催してはどうか。
- ・地域資源の保全と活用には、「継続」、「マンパワー」、全体を繋ぐ「ストーリー」が必要である。

次回は、今回の「守りたい資源」や、「活かしたい資源」、「取り組みたいこと」などについて追加意見を頂いた後、体系化を行い、具体的な取組(プロジェクト)をとりまとめていく予定です。

日時 : 平成24年10月23日(火)

19時00分~21時30分

場所 : 国土交通省尾原ダム管理支所

参加者: 29名



▲作業部会(仮称)の位置づけ、目的などの説明



▲意見交換・アイデア出しの状況

▲各グループのリーダーによる発表

編集  
後記

活発な意見交換ありがとうございました。グループで様々な人が意見交換することで、新たな発見や気づきがあったかと思えます。この「作業部会(仮称)」の名称は、メンバーの方に提案をいただき、次回決定する予定です。



【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

・雲南市 ダム対策課  
・奥出雲町 地域振興課  
・島根県 雲南県土整備事務所

・島根県 斐伊川神戸川対策課  
・国土交通省 出雲河川事務所管理第二課

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。 <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>



# 尾原ダム水源地域ビジョンニュース

第3号 (H24.11.28発行)

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取り組む「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

## 第2回「さくらおろちを活性化する会」を開催しました

### ◆組織の名称が「さくらおろちを活性化する会」に決定しました。

「尾原ダム水源地域ビジョン作業部会(仮称)」の名称を参加メンバー11名から提案していただきました。提案いただいた名称案をもとに第2回作業部会(仮称)で組織の名称を討議し、「さくらおろちを活性化する会」に決定しました。

### ◆「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定状況は、様々な媒体を活用して発信しています。

様々な情報媒体を用いて、尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会の審議内容(議事要旨・資料)及び作業部会の検討概要等を発信しています。

#### ■ホームページ

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会での審議内容や資料を国土交通省出雲河川事務所HP上に専用コーナーを設け、広く水源地域ビジョンの策定状況を発信しています。

- ・ホームページ(専用コーナー)の立ち上げ:10月1日
- ・専用コーナーへのリンク設定(島根県土木部斐伊川神戸川対策課):10月5日
- ・専用コーナーへのリンク設定(島根県雲南県土整備事務所):10月11日
- ・専用コーナーへのリンク設定(雲南市):10月11日

#### ■公報

島根県や雲南市、奥出雲町が発行する公報を活用し、水源地域ビジョンの策定状況や策定スケジュールなど、水源地域ビジョンに関する情報を発信し、地域住民等の関心の喚起を目指しています。

- ・「市報うんなん」での掲載:11月15日
- ・「広報奥出雲」での掲載:11月20日

#### ■地域マスメディアの活用

尾原ダム水源地域を主な活動範囲とする地域マスメディア(雲南ケーブルテレビ、雲南夢ネットなど)に対し、水源地域ビジョン策定委員会の開催案内や実施内容を積極的に伝えていきます。

また、地元新聞社に対しても、開催案内などの情報を発信していきます。

### ◆取組(プロジェクト)の追加内容を出し合いました。

第2回「さくらおろちを活性化する会」では、前回の意見交換の結果を確認するとともに、守りたい資源や活かしたい資源、取組の追加意見・提案を出し合いました。

その後、具体的な取組を「プロジェクト」として位置づけ、3つのグループで熱心な意見交換を行いながら、各プロジェクトの目的や実施場所、具体的な取組などを詰めていきました。

提案されたプロジェクトは、景観を保全するための植栽や、各種イベントの企画・開催、大学生との連携など、多様な分野に広がっていました。

最後に、各グループの意見を全体で発表していただき、皆で意見を共有して第2回「さくらおろちを活性化する会」を終えました。

日時:平成24年11月15日(木)

19時00分~21時30分

場所:国土交通省尾原ダム管理支所

参加者:25名



▲取組(プロジェクト)の体系化や内容の説明



▲意見交換・アイデア出しの状況

▲各グループのリーダーによる発表

#### 【主な意見・提案】

- ・ダム周辺道路の景観を守るためにも、周辺に繁茂するクズの対策を行っていききたい。
- ・水質保全と環境保全の啓発を兼ねてピオトープを整備したい。
- ・ダム湖周辺の景観を向上させるために、サクラやモミジの植栽を行っていききたい。
- ・人がぐるダムになるよう、堤体のライトアップやイルミネーション、クレスト放流などを実施したらどうか。
- ・ダム本体や堤頂道路を活用したイベント(ロッククライミング、綱引き大会、ボウリング大会など)を実施していききたい。
- ・尾原ダムを活かした「日本一」を探し、挑戦してみたい。
- ・ダムのビューポイントの探索や、尾原ダムフォトコンテストを開催したい。
- ・ダム周辺の静寂さを活かした星空観察会などを開催したらどうか。
- ・道の駅を拠点としたレンタサイクルの実施を検討したい。
- ・さくらおろち湖とサイクリング施設を活用して、トライアスロン大会を開催したらどうか。
- ・島根大学や島根県立大学の学生と連携していききたい。

今回は、今回出していたいただいた具体的な取組(プロジェクト)の体系化と内容確認の後、プロジェクトの優先順位をつけるとともに、「先行プロジェクト(1年目実施)」を選び、そのとりまとめ様式を確認する予定です。

#### 編集後記

グループでの意見交換を通し数多くの意見・提案をいただき、ありがとうございました。この地域が持つ可能性と今後の方向性が、見えてきたように思います。活発な意見交換をよろしくお願ひします。



【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

・雲南市 ダム対策課  
・奥出雲町 地域振興課  
・島根県 雲南県土整備事務所

・島根県 斐伊川神戸川対策課  
・国土交通省 出雲河川事務所管理第二課

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。 <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>



# 尾原ダム水源地域ビジョンニュース

第4号 (H24.12.25発行)

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取り組む「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

## 第3回「さくらおろちを活性化する会」を開催しました

### ◆抽出された55個のプロジェクトの実施内容を確認しました。

第1回・第2回さくらおろちを活性化する会で抽出された取組(プロジェクト)の目的や実施場所、具体的取組などを事前にアンケート調査で意見を募るとともに、1つ1つ確認し、尾原ダム水源地域ビジョンに掲載すべき実施内容を確認しました。

### ◆55プロジェクトの優先順位と先行プロジェクト※を選定しました。

尾原ダム水源地域ビジョンとして実施するプロジェクトの内容を踏まえ、各プロジェクトの優先順位を右図のように検討しました。

プロジェクトの優先順位の検討にあたっては、まず、事前に実施したアンケート調査の結果をもとに、先行プロジェクト(1年目に実施する取組)についての意見交換を行いました。その結果、55個のプロジェクト(案)のうち、40個を先行プロジェクト(案)として選定されました。

次に、先行プロジェクトとして選定されなかったプロジェクトを「取組みやすさ」と「目標時期」で評価し、早期に実施すべき施策(1~3年)、中期に実施すべき施策(4~6年)、長期に実施すべき施策(7~10年)の3つに分類しました。

最後に、先行プロジェクトのとりまとめフォーマットを確認し、第3回「さくらおろちを活性化する会」を終えました。

※先行プロジェクト:1年目から実施するプロジェクト

日時 :平成24年12月12日(水)  
19時00分~21時30分  
場所 :国土交通省尾原ダム管理支所  
参加者:23名

手 な か な な 取 組 め る か 取 組 み 難 い か	優先度高	先行プロジェクト	
	優先度中		
	優先度低		
	早期に実施すべき (1~3年)	中期に実施すべき (4~6年)	後期に実施すべき (7~10年)



▲グループに分かれての意見交換の状況 【A班】



【B班】



【C班】



▲全体での意見交換の状況



▲プロジェクトの優先順位付けの状況

今後は、平成25年1月17日開催予定の「第2回策定委員会」で決定されたプロジェクト(案)のうちから先行プロジェクトについて、平成25年2月上旬頃開催予定の「さくらおろちを活性化する会」で1年目に実施すべき内容や実施主体、役割分担などを討議し、取りまとめる予定です。

編集  
後記

先行プロジェクトの選定に際し、ご協力いただきありがとうございました。選定されたプロジェクトの数の多さや示すように尾原ダム周辺地域では、既に活動な活動が実施されています。次回も活発な意見交換をよろしくお願いいたします。



【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

・雲南市 ダム対策課  
・奥出雲町 地域振興課  
・島根県 雲南県土整備事務所

・島根県 斐伊川神戸川対策課  
・国土交通省 出雲河川事務所管理第二課

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。 <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>